



カテゴリー
外装部材

部品名
アンダーカバー

材 料
PP+CNF

成形方法
ブロー成形

CNF含有PPを用いたアンダーカバーの量産性追求

目的

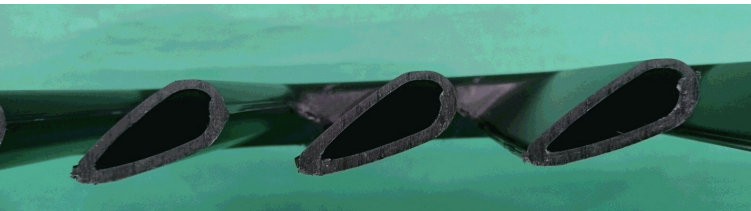
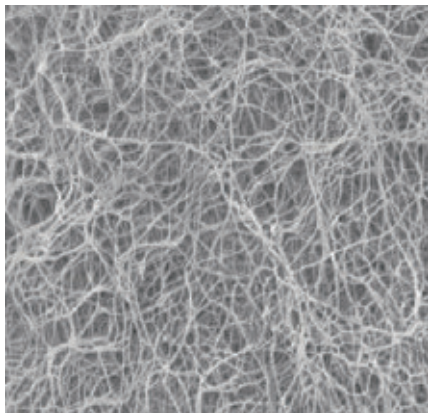
CNF含有PPを用いたアンダーカバーの量産性追求

目標

1. 軽量化率 10% 以上
2. 生産性 現行品同等
3. 品質 現行品同等
4. コスト 現行品同等

目標達成時期（見込み） 1.2025 年 2-4.2030 年

現状

	外 観	ポイント	期待効果	懸念事項
部品		・中空軽量製品 ・CNF 添加により剛性強化 ・形状自由度は従来ブローと同等 ・リサイクル性に優れる	・軽量化率10% 以上（弾性率向上に伴い薄肉化） ・現行設備にて量産可能 ・リサイクル時の物性低下が少ない	・成形時や部品燃焼時の臭気発生 ・CNF 材の分散不良
断面		・中空軽量製品 ・吸音効果有	・強度向上 ・吸音周波数帯の変化	・繊維配向による剛性や収縮の異方性 ・端末処理工具の寿命低下
CNF		・環境由来材料 ・ナノメートルオーダーの繊維	・弾性率向上 ・流動特性改善	・臭気や VOC の発生 ・高コスト ・吸水量のバラツキ

今後

- ・必要品質評価や軽量化効果の確認
- ・吸音特性の調査
- ・懸案品質（吸水性、燃焼性、におい・VOC 等）の重要度確認
- ・LCA 効果の検証
- ・コスト概算